

2015年6月10日

企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者による定期会合の開催

企業会計基準委員会
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会（ASBJ）と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2015年6月8日と9日に、ノーウォーク（米国）で会合を開催しました。この会合は、高品質なグローバルな会計基準の開発へ向けて連携を深めるために、ASBJとFASBが年に2回、定期的に行っているもので、今回で第18回目となりました。

会合では、お互いの活動の最新状況を確認するとともに、両基準設定主体が関心を有している項目である「概念フレームワーク」、「開示フレームワーク」、「収益認識」及び「基準設定主体のデュー・プロセス」等について議論を行いました。

ASBJとFASBは、引き続き、意見交換していくことに同意しました。なお、次回の会合は2016年第1四半期に東京で開催する予定です。

小野行雄ASBJ委員長は次のように述べています。

「両基準設定主体が関心を有している項目について実りのある議論ができたと思う。特に、今回の会合では、テクニカルな項目だけでなく、高品質な会計基準を開発するための基準設定主体のデュー・プロセスについても、意見交換することができ、大変うれしく思う。このような会合を通じて、引き続き、高品質なグローバルな会計基準の開発に貢献していきたい。」

ラッセル・ゴールデンFASB議長は次のように述べています。

「ASBJとFASBの定期会合は、財務報告の国際的な比較可能性を高めるだけでなく、それぞれの法域において最も高品質な会計基準を開発するにあたり重要なものである。ASBJと見解を共有することは、会計基準の改善に寄与するものであり、今後とも末永く会合を継続していくことを楽しみにしている。」

企業会計基準委員会(ASBJ)について

ASBJは、2001年7月に民間部門の機関として設立された。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJに関する詳細な情報は、ホームページ<http://www.asb.or.jp/>をご参照いただきたい。

米国財務会計基準審議会(FASB)について

FASBは、1973年以来財務会計及び財務報告基準を設定するための民間部門の機関として指定されている。それらの基準は、財務報告書の作成を規定し、証券取引委員会及び米国公認会計士協会により権威のあるものとして正式に認識されている。投資家、債権者、監査人及びその他の人々は、信頼性、透明性、比較可能性のある財務情報を必要とするため、このような基準は、経済の効率的機能にとって不可欠である。FASBに関する詳細な情報は、ホームページwww.fasb.orgをご参照いただきたい。